

# 平成27年度 第1回 政策会議 審議結果

日時：平成27年8月10日（月）13：00～13：45

場所：5階庁議室

【議 題】 花畑町別館に関する基本方針（案）について

【提 案 局】 市長政策総室（政策企画課） 説明者：古庄市長政策総室長

【出 席 者】 大西市長、高田副市長、植松副市長、村上総括審議員（理事代理）、多野総務局長、藤本財政局次長（財政局長代理）、永目市民局長、西島観光文化交流局長、永山都市建設局長、萱野中央区長

【付議内容】 花畑町別館に関する基本方針（案）について確定したい

【資 料】 ◇付議事項調書（様式1）  
◇花畑町別館に関する基本方針（案）＜要旨＞（資料1）  
◇花畑町別館建替検討体制（資料2）  
◇花畑町別館に関する基本方針（案）  
◇資料編  
◇政策調整会議内容検討表（様式4）

【審議結果】 ◆一部修正のうえ了承

【議事概要】 ◇花畑町別館に関する基本方針（案）について、以下の点に対応の上、了承した。

- ①建て替えることによる、市民への還元効果を明確にすること。
- ②今までの検討経緯についても丁寧に盛り込み、明確な根拠をもって、建て替えの方針をとりまとめ、事業費、及びスケジュール等の詳細については参考として公表すること。
- ③長期的な視点から、人口ビジョンとの整合や将来的な本庁舎改修への対応等についても盛り込むこと。
- ④中央区役所をはじめとする本庁舎の機能の最適配置については抜本的改善に努めること。

【審議の経過】 ◇人口ビジョンと照らし合わせた将来的な本庁舎機能の規模、本庁舎の将来的な改修も視野に入れ、長期的な資産マネジメント

トを考慮すべき。(市長)

◇建て替えたことによる市民への還元について説明が必要。(市長)

◇20年以上のシミュレーションを踏まえ、事業費については、慎重に精査した結果を公表するべきと考える。(総務局長)

◇基本方針には、建て替えに至った経緯を丁寧に盛り込み、明確に説明できる根拠を整理しておくことが必要。また、スケジュールを含む詳細な内容については決定していないということ公表すること。(高田副市長・植松副市長)

⇒本庁機能の集約化、文化的対応、民間活力の活用など今後検討する部分はあるが、建て替えに至った経緯を整理したうえで、方針を打ち出し、新年度予算へ解体設計予算を要求できるまでの環境整備を進めたい。(市長政策総室長)

◇本庁舎は建設から30年経過し、組織改編を繰り返す中、市役所は市民にとって使いづらい状況にあるため、機能配置やレイアウトについては抜本的な改善を検討していただきたい。(中央区長)

◇別館用地は熊本城にも近いことから、50年後の次期別館整備時には城への眺望を確保する先導的役割を担うため、土地は所有しておくべきと考える。(高田副市長)

◇9月議会においては、丁寧に方向性を打ち出すのが大事。

⇒9月議会で方向性を打ち出したいと思っている。それまでに経緯などをまとめて説明に伺うこととする。(市長政策総室長)